

事業報告（平成27年度）

1. 法人の概要

法人名 学校法人 静岡和洋学園

設置する学校と学科

静岡女子高等学校

全日制課程 普通科 家政科 商業科 福祉科

	学則定員	1年生	2年生	3年生	計
普通科	240人	69人	47人	56人	172人
家政科	120人	29人	33人	35人	97人
商業科	120人	35人	33人	26人	94人
福祉科	120人	37人	31人	27人	95人
計	600人	170人	144人	144人	458人

学科等の学則定員・学生数の状況（平成28年4月1日現在）

役員、教職員の概要等

理事長 1名

理事 7名

監事 2名

校長 1名（理事）

教頭 1名

教諭 24名 講師 24名 司書 1名

事務職員等 7名

2. 事業の概要

- (1) 創立100周年に向けての準備を開始しました。
- (2) 前理事長一周忌「偲ぶ会」を举行了ました。
- (3) 普通科のS J H（Shizuoka Joshi Hour）は3年目を迎え、より充実を図りました。
- (4) 新入生に本校生徒としての自覚と心得を習得する為の井川合宿を4月に実施しました。
- (5) 生徒募集の体験入学の一環として、福祉施設「なごみ」の見学会を実施しました。

- (6) わかりやすい授業と主要3教科の学力向上を目指して補習授業を展開しました。
- (7) 2学期中間テストの導入、学び直しトレーニングの導入と実力テストによる基礎学力の向上を図りました。
- (8) 医療的ケアのカリキュラムが加わった福祉科の充実を図りました。
介護福祉士国家資格の合格率は過去最高の91.7%を達成しました。
介護職員初任者研修修了者3期生を輩出しました。
- (9) 家政科においても介護職員初任者研修修了者の2期生を輩出しました。
- (10) 進路指導部による、進学、就職の決定率増加に注力しました。
- (11) 各行事の実施時期と行事間のバランスを見直し、学校行事の充実を図りました。
- (12) 会計基準改訂に伴い、会計ソフトを導入しました。

3. 財務の概要

予算と決算の突出する差異はありませんでした。

<収入の部>

- (1) 学生生徒納付金収入は予算通りとなりましたが、前年対比では新入生入学者数の減少により入学納付金に影響し、前年対比99.2% (△1,543千円) となりました。
- (2) 補助金収入は予算通りでしたが、静岡県からの経常費補助金は前年対比99.1% (△1,728千円) の減少、静岡市からは前年対比97.1% (△78千円) と減少しております。生徒数の減少により実質経常費補助金のマイナス要素になっていきます。本年度は昨年より更に厳しい状況が懸念されます。
- (3) 前受金収入は、前年対比103.6% (+954千円) と増加しています。平成28年度新入生170人の入学時納付金です。昨年より入学者が10名増えています。

<支出の部>

- (1) 人件費は予算を大目に計上しましたが、実質中身の教職員の人件費は前年対比101.6%の増加でした。
- (2) 教育研究経費としては、授業料減免費が△2,358千円となっています。これは就学支援金の新制度により収入である就学支援金が増えた反面で減免費補助金が減ったという現象です。
水道光熱費も原油安の影響で予算比△1,144千円となっています。特にガス代の値下がりが大きく、本校はエアコンをガス仕様で運転しているため、その効果は大きく出ました。

修繕費は、28年度に修繕を予定している事案がありますので先送りとしました。

- (3) 管理経費全体は、前年並みの水準でした。
- (4) 平成27年度の引当特定預金の繰り入れは、減価償却引当特定預金60,000千円、校地引当特定預金20,000千円でした。

総括として、支出の部では常に経費節減に努めて参りましたが、平成29年度は更なる消費税増税が待ち構えています。教職員はもちろんのこと、生徒にも節約意識や物の大切さを啓蒙することも必要と考えます。

収入の部では生徒数の減少により、納付金に大きく影響し、それと同時に経常費補助金にも大きく影響して来ます。今後も少子化問題は学校経営にとって、避けては通れない問題であります。創立100周年に向けて、学生数の確実な確保と維持を実現し、「誠実」「温雅」「適応」の教育精神に則り、信頼ある校風作りが堅実経営の基本になって行くと考えます。